

# AIで薬歴入力時間を大幅削減

## ウィーメックス

ウィーメックスは、薬剤師の業務効率化・薬歴入力時間の削減に貢献すべく、昨年からは生成AI「ChatGPT」と音声認識AIを搭載した薬歴入力支援システムの開発を進めている。今年5月からはツルハドラッグの一部店舗においてトライアル利用を実施。実際に店舗で利用した薬剤師から各種機能に対する要望を収集し、年内の発売に向けてさらなる改良点を探る。

薬剤師が薬歴の入力業務にかかる時間は、厚生労働省の「薬剤師の需給動向把握事業における調査結果概要」によると1日当たり約1時間25分と言われており、対物から対人業務への転換が求められている薬局・薬剤師にとって大きなハードルの1つとなっている。また薬局の開局時間中は、患者対応・服薬指導・疑義照会・不足薬剤発注などの業務に追われ、薬歴記載は閉局後となるケースも多く、薬剤師の残業時間の増加も指摘されている。

こうした課題の解決に向けて今回トライアル利用を行う「薬歴入力支援シ

ステム」では、①Webブラウザより薬歴入力支援システムにログイン②服薬指導時の会話を録音③録音データを音声認識AIがテキスト化し、生成AIによりSOAP形式に変改・表示④表示内容を確認し、薬歴システムにコピー&ペーストで転記——という流れで薬歴入力の手間と時間を大幅に削減する。対面・オンライン問わず、いつもと同じ服薬指導を行うだけで、SOAP形式でのテキスト表示が可能となっており、また服薬指導ごとにデータが蓄積されるため、時間があるときに確認・編集・薬歴への転記作業もできる。昨年秋に実施した社内検証では、1件の薬歴入力にかかる時間が薬剤種類数6種未満の場合で平均1.5分(通常3.9分→61.5%削減)、6種以上の多剤調剤時で平均2分(通常6.3分→68.3%削減)と、大幅な削減を記録したという。

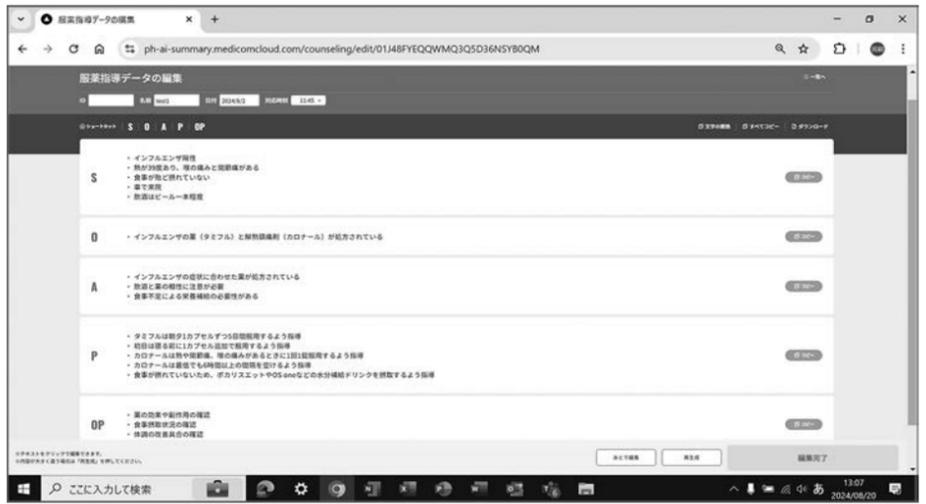
今時点では利用中の薬歴システムにコピー&ペーストで情報を転

記する仕様となっているが、今後の機能拡張としてウィーメックスの電子薬歴と連携し、より簡単な薬歴入力を可能にするバージョンも開発している。

また服薬指導の情報は、3省2ガイドラインに準拠した高セキュリティの国内サーバーで管理しており、薬局を含む医療機関に対してサイバーセキュリティ対策が義務づけられる中で、安心して使用できる。

ツルハホールディングスの中期経営計画では「臨床から臨生へ」という“治療からケアへ”を意味するスロー

ガンを掲げており、「対物から対人へ」の進化が求められる薬局業界において薬局薬剤師の業務を「ケアに向けて開く」ことを目指している。同社GR調剤戦略部長の立石大介氏は今回のトライアルに関して「この新システムは単なる作業効率化だけでなく、薬歴の中にある非定型データをアセットとして活用することで、真の意味でのEBM、SDMの実践、多職種連携やかかりつけ職能発揮のためのコパイロットとなる」と確信している。



# オールインワンの調剤システムへ

## ズー「kusudamaクラウド薬歴」

調剤薬局向けシステム開発・販売のズー(上田市)は、薬局、薬剤師のさらなる業務効率化を目指し、生成AIを使ったクラウド型電子薬歴システム「kusudamaクラウド薬歴」を8月に販売開始した。同社では現在提供しているレセコン、タブレット、POSレジ、本部システムの4つで構成し、受付から会計まで幅広い薬局業務をサポートする「kusudama(薬玉)」をベースにした新しいクラウド型システムの開発を進めてきたが、その第1段として生成AIが服薬指導や薬歴作成をサポートする機能を実装し、PC・タブレットどちらでも利用できる形の薬歴システムをリリースした形だ。

新薬歴システムでは、AIが処方内容、患者情報、過去の薬歴を総合的に

判断し、適切な指導内容を提案する。指導時の会話を録音することで、AIを通して会話内容が自動的に文字起こしされる。通信環境が遮断された状況でもオフラインで録音したファイルの後から読み込ませることで利用可能だ。

また薬歴作成をサポートする機能として、処方内容や会話内容などをもとに、SOAP薬歴の下書きをAIが作成する。薬剤師はチェックと修正を行うだけで薬歴を完成させることができ、会話内容から重要なキーワードをAIが自動でピックアップして、既往歴やアレルギーなどの基本情報を取得して転記できる。また、検査値が記載されている用紙をタブレットで撮影すれば、適切な項目に自動で値が入力される。これらの機能により、薬歴記載

の時間を大幅に短縮できるという。

在宅訪問の機能も充実している。施設ごとに訪問予定を管理でき、計画書や報告書を一括作成・印刷が可能だ。報告書作成にもAIを活用し、薬歴の内容をベースに報告書の形式にまとめることもできる。

さらにタブレットのカメラやBluetooth接続のリーダーを用いて、

薬剤のGS1コードを読み取り、処方内容とピックアップした薬剤が合っているか機械的にチェックしてミスを未然に防ぐことができるなど、ピックアップや調

剤監査のサポートも充実している。

「kusudamaクラウド薬歴」について、今後は処方入力やレセプト請求、在庫管理、本部、POSレジなどの機能追加を予定している。最終的には調剤の情報とPOSの購買履歴を統合し、ヘルスケア台帳としてもご利用できるオールインワンの調剤システムを目指している。



# 第57回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)

 <p><b>武蔵野大学薬学部</b></p> <p>〒202-8585 東京都西東京市新町一―二〇 電話 〇四二(四六八)三三五〇番</p>	 <p><b>東京理科大学薬学部</b></p> <p>〒192-0392 東京都八王子市堀之内一四三二―一 電話 〇四二(六七六)五一一番(代)</p>	 <p><b>東京理科大学薬学部</b></p> <p>〒278-8510 野田市山崎二六四―一 電話 〇四(七一二四)一五〇一(代表)</p>	 <p><b>日本薬科大学</b></p> <p>〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室一〇二八―一 電話 〇四八(七二一)一一五五番</p>	 <p><b>城西大学薬学部</b></p> <p>〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台一―一 電話 〇四九(二七一)七七一一番</p>	 <p><b>奥羽大学薬学部</b></p> <p>〒963-8611 郡山市富田町三角堂三一―一 電話 〇二四(九三二)八九三一番</p>	 <p><b>東北医科薬科大学</b></p> <p>〒981-8558 仙台市青葉区小松島四―四―一 電話 〇二二(二三四)四一八―一</p>	 <p><b>北海道医療大学薬学部</b></p> <p>〒061-0293 石狩郡当別町金沢一七五―七 電話 〇一三三(二二三)一一二―一</p>
--	--	---	---	---	---	---	---